

R7. 10. 2 (木) 実施

(山崎先生)

母性看護学方法論 2 : 産褥期における看護/褥婦のアセスメント

正しいと思うものを選び、解答欄に記入してください

1 子宮復古の評価方法として正しいのはどれか。

1. 下腹部痛の有無を聴取する
- ② 腹壁より子宮底の高さを触診する
3. 悪露の悪臭の有無を確認する
4. 内診を行う

2 子宮復古不全を最も疑う所見はどれか。

1. 子宮底が小さく硬い
2. 悪露が漿液性で少量
- ③ 子宮底が正常より高く柔らかい
4. 後陣痛の訴えがある

3 産褥3日目、悪露の所見として正しいのはどれか。

1. 赤色悪露が持続する
- ② 褐色悪露に移行する
3. 悪臭を伴う悪露が排出される ×
4. 悪露が消失する ×

1~2 赤色
3~4 褐色
2日目

4 産褥子宮内膜炎を疑う所見として正しいのはどれか。

1. 子宮底が硬い
- ② 悪露に悪臭を伴う
3. 排尿が頻回である
4. 後陣痛の訴えがある

5 吸啜刺激により分泌され、乳汁分泌を促進するホルモンはどれか。

1. プロゲステロンとエストロゲン
2. インスリンとコルチゾール
- ③ プロラクチンとオキシトシン
4. テストステロンとエストロゲン

1. 自律神経コントロール

2. エンドクリンコントロール (ホルモンによる調節)

3. オートクリンコントロール (局所的な調節)

4. 栄養摂取による代謝コントロール

6 胎盤娩出後に乳汁分泌を抑制していた2つのホルモンの血中濃度が低下し、乳汁分泌が開始される。このホルモンはどれか。

- ① プロゲステロンとエストロゲン
2. プロラクチンとオキシトシン
3. コルチゾールとインスリン
4. アドレナリンとノルアドレナリン

7 授乳が頻回になることで乳汁分泌が促進されるのはどの調節機構によるか。

1. 内分泌（エンドクリン）コントロール
- ② オートクリンコントロール
3. 中枢神経の抑制
4. 血圧コントロール

8 産褥期の下腹部痛の原因として誤っているものはどれか。

- ① 後陣痛
2. 尿閉
3. 子宮破裂
- ④ 産褥高血圧症

9 産褥子宮内膜炎の検査として適切なものはどれか。

1. 心電図検査
2. 悪露培養やCRP検査
3. 血糖検査
4. レントゲン

10 産褥期の発熱の原因として考えられる原因はなにか。

- ① 乳腺炎
2. 産褥子宮内膜炎
3. 創部感染
- ④ 以上すべて

次の事例を読み、11～15の問いに答えてください

Aさん（27歳、初産婦）は、経膣分娩にて3,000gの女児を出産した。産褥2日目、体温36.8℃、脈拍70回/分、血圧112/70mmHgであった。子宮底は臍下2横指に触知し硬さ良好、悪露は赤色で量は中等量、悪臭は認めない。食欲あり、排尿も自立している。

11 Aさんの現在の状態をアセスメントしたものはどれか。

- ① 正常な産褥経過である
- 2. 子宮復古不全の可能性が高い
- 3. 産褥子宮内膜炎の可能性が高い
- 4. 悪露の性状に異常を認めている

12 Aさんの3日後（産褥5日目）の状態として、正常なものはどれか

- 1. 子宮底の高さは臍高となる ×
- 2. 悪露は赤色で中等量である ×
- ③ 子宮底は腹壁から触れなくなっている
- 4. 悪露は褐色～淡黄色で少量である ×

Bさん（35歳、経産婦）は、妊娠33週3日に血圧180/100mmHg以上となり、緊急帝王切開で出生体重1600gの児を出産した。現在の血圧は120～130/60～70mmHgで経過している。産褥4日目、子宮底は臍下4横指で硬度良好、悪露は褐色で少量である。乳房緊満感は軽度で、搾乳で20～30ml/回の分泌あり。Bさんは「理由もなく涙が出てきて、不安で落ち着かない」と話している。

13 現在のBさんの身体的状態をアセスメントしたものはどれか

- ① 子宮復古は正常である
- 2. 妊娠高血圧症候群により、子宮復古が阻害されている
- 3. 乳腺炎の可能性が高い
- 4. 産褥子宮内膜炎が考えられるため、悪露培養の検査が必要である

14 Bさんの心理的状态として最も考えられるのはどれか。

- ① マタニティブルース
- 2. 産褥精神病
- 3. 産褥うつ病
- 4. 適応障害

15 産褥20日目、Bさんは「搾乳の回数が少ないと翌日は分泌量が少ないが、頻回に搾乳すると分泌が増える」と話している。この時期の乳汁分泌に最も関与している調節機構はどれか。

- 1. 自律神経コントロール
- 2. エンドクリンコントロール（ホルモンによる調節）
- ③ オートクリンコントロール（局所的な調節）
- 4. 栄養摂取による代謝コントロール

R7. 10.2 (木) 実施

母性看護学方法論2：産褥期における看護/褥婦のアセスメント (山崎先生)

解答用紙

問題番号	解答
1	2
2	3
3	2
4	2
5	3
6	1
7	2
8	4
9	2
10	4
11	1
12	3
13	1
14	1
15	3